



作業療法と移動機器・座位保持装置

本声明の位置づけ

自由な移動と環境へのアクセスのしやすさは、人々に与えられる基本的人権である。移動に困難を有している人々は、移動機器・座位保持装置によって各々の環境へのアクセスおよび日常の作業活動への参加が容易になる。

世界作業療法士連盟（WFOT）は、今ある最良のエビデンスに基づいて作成されたガイドラインに則って、移動機器を必要とする人々に対して質の高いサービスへのアクセスを支援する。作業療法士は作業療法サービスの提供を通じて対象者個人・家族・介護者の自律性と役割を尊重する。適切、かつ手頃な価格の移動機器・座位保持装置の利用を促進することで、作業療法士は対象者の生産性を高め、対象者自身が自身の可能性を信じ、レジャー活動を楽しみ、社会・文化環境への参加を支援することができる。

作業療法に対するこの見解の重要性

作業療法士は包括的な移動機器・座位保持装置に関して、対象者個人のニーズが多様であることを理解したうえで、総合的なサービス提供を行うための専門知識を有している。

作業療法士は持続可能かつ包括的なクライアント・センタード・アプローチを行うことで、対象者個人の経歴、優先順位、ニーズ、職業、そして環境に最も適した機器を検討することができる。

作業療法士は様々な場面、例えば対象者の自宅、リハビリテーション施設、地域環境などで移動機器・座位保持装置サービスを提供している。作業療法士としての役割は以下に限定されるわけではないが、主に1) アセスメントの実施、2) ポジショニングと姿勢保持、褥瘡ケア、機能維持、安全管理などの対象者個人のニーズ確認、3) アクセス改善に向けた機器調整および環境調整、4) 安全かつ効果的な利用のための対象者と介護者への教育、がある。

社会に対するこの見解の重要性

作業療法士は、対象者が対象者個人さらには社会にとって意味ある作業に取り組む価値を理解している。世界には移動に何らかの困難を抱え移動機器・座位保持装置を必要としている人々が7,000万人以上いると言われている。しかしながらこれらの人々のわずか5~15%しか、適切な移動機器を活用できていない。WFOTは、高品質の機器の提供にあたっては、より多くの専門技術を有した専門家の必要性を認識している。調査によると、養成教育段階での移動機器や座位保持装置に関する教育は利用者と介護者にとってもメリットがあることが示されている。

結論

作業療法士は「作業を可能にする」専門家であり、移動機器・座位保持装置を必要としている人々のニーズの解決、およびこれらの人々を代弁できる立場にいる。WFOTは、人々が自立して、安全に、適切に、自由に環境にアクセスできるように、さらには作業療法の遂行と満足度の向上を実現するために、生涯教育および今ある最良のエビデンスの適用を推奨する。

References

1. Marton SM, Polk G, Fiala DR. Convention on the rights of persons with disabilities. USA: United Nations. 2013 Oct 16.
2. Smith, Emma M., Brodie M. Sakakibara, and William C. Miller. "A review of factors influencing participation in social and community activities for wheelchair users." *Disability and Rehabilitation: Assistive Technology* 11.5 (2016): 361-374.
3. Toro ML, Eke C, Pearlman J. The impact of the World Health Organization 8-steps in wheelchair service provision in wheelchair users in a less resourced setting: a cohort study in Indonesia. *BMC Health Services Research*. 2015 Dec;16(1):1-2.
- ñ. Sarsak HI. Developing wheelchair training program for rehabilitation and occupational therapy students. *MOJ Yoga Physical Ther*. 2018;3(J):79-83.
5. World Health Organization. Wheelchair service training package. Switzerland: WHO. 2012.
6. Fung K, Miller T, Rushton PW, Goldberg M, Toro ML, Seymour N, Pearlman J. Integration of wheelchair service provision education: current situation, facilitators and barriers for academic rehabilitation programs worldwide. *Disability and Rehabilitation: Assistive Technology*. 2019 Apr 23.

Contributors

Hassan Izzeddin Sarsak [Saudi Arabia]

Paula W Rushton (Canada)

Ronald Lee Kirby (Canada)

Mary Goldberg [United States of
America] Wei Qi Koh [Singapore)

Tecla Mlambo [Zimbabwe]

Josefina Aramburu [Argentina]